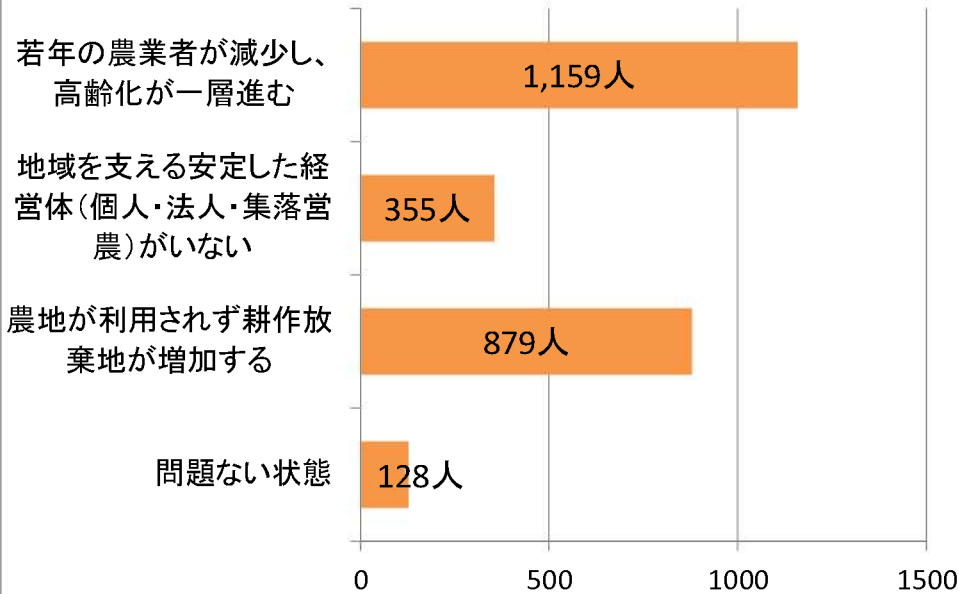


地域農業の将来に関するアンケート調査 五戸町 全体地区

アンケート実施期間: 平成24年5月11日～平成24年5月18日

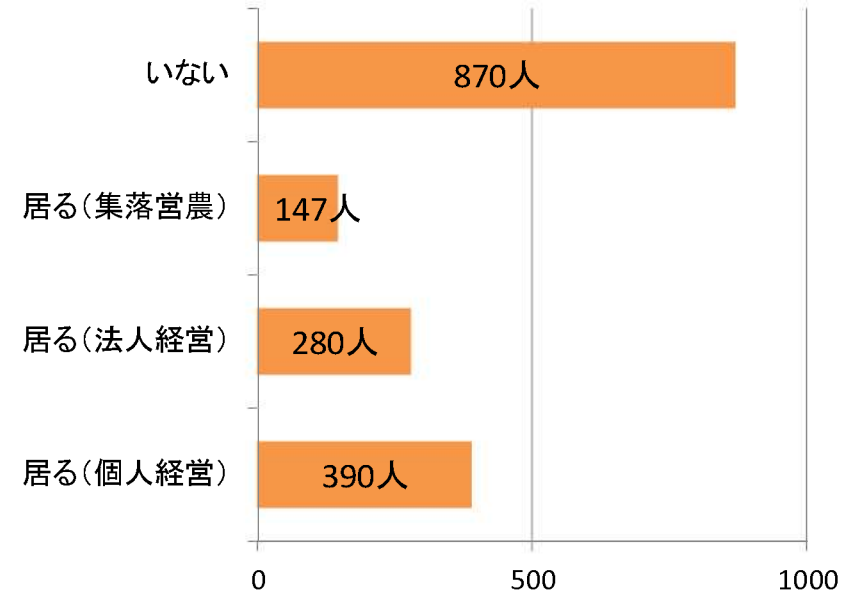
対象者数 2,809 回答数 1,572 回答率 55.96%

Q1 五戸町の集落・地域の農業(人と農地)は、放っておくと10年後にどのようになっていると思いますか。



コメント: 若年農業者が減り、中心となる経営体が高齢により減少するため、耕作放棄地の増大が懸念される。

Q2 あなたの集落・地域には、現在、今後の地域農業の中心となる経営体(個人・法人・集落営農)がいますか。



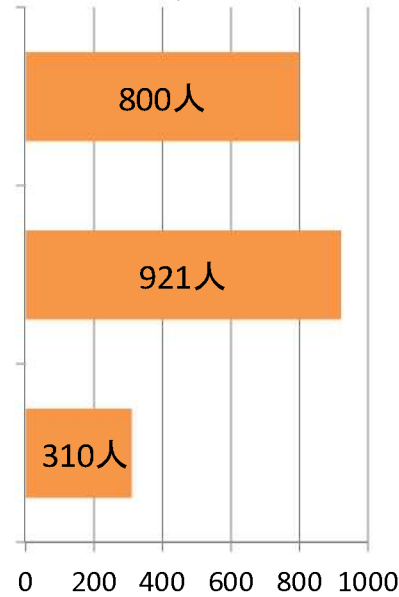
コメント: 半分以上が地域の中心となる経営体が居ないと思っているが、中心となる経営体が居ないわけではないので、その方たちを中心にプランを作成し、地域農業を持続させたい。

Q3 あなたの集落・地域の農業(人と農地)を持続可能なものとするために、今後どうしたらよいと思いますか

今後、中心経営体を創出し、農地を集積するとともに青年就農者が参加したりすることが必要

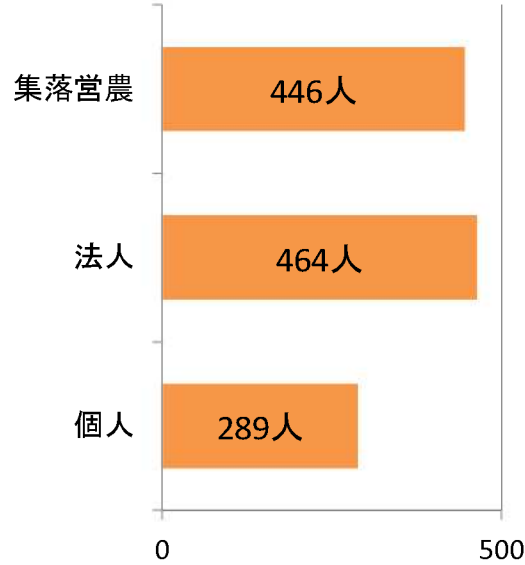
現存する中心経営体に農地を集積しそこに青年就農者が参加していくことが必要

何もしなくて良い



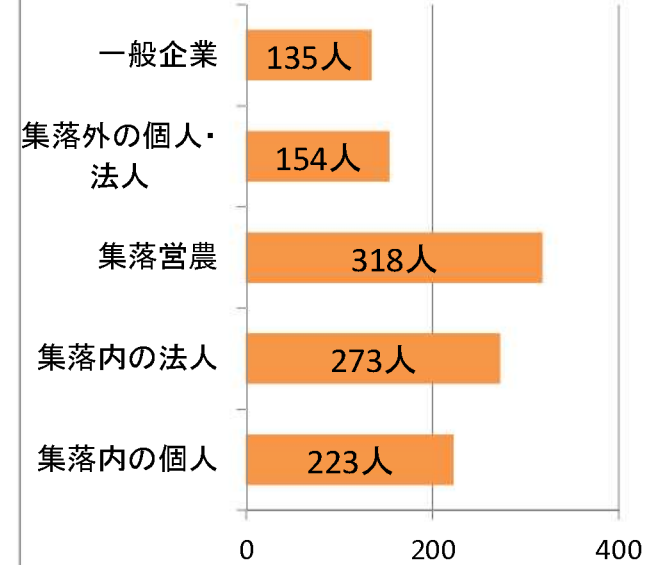
コメント: 農業を持続可能にするために、現存する経営体や新たに創出する経営体及び新規青年就農者に参加してもらうことが必要となる。

Q3-② 既存の中心経営体のうち集積対象として適当と思う経営体



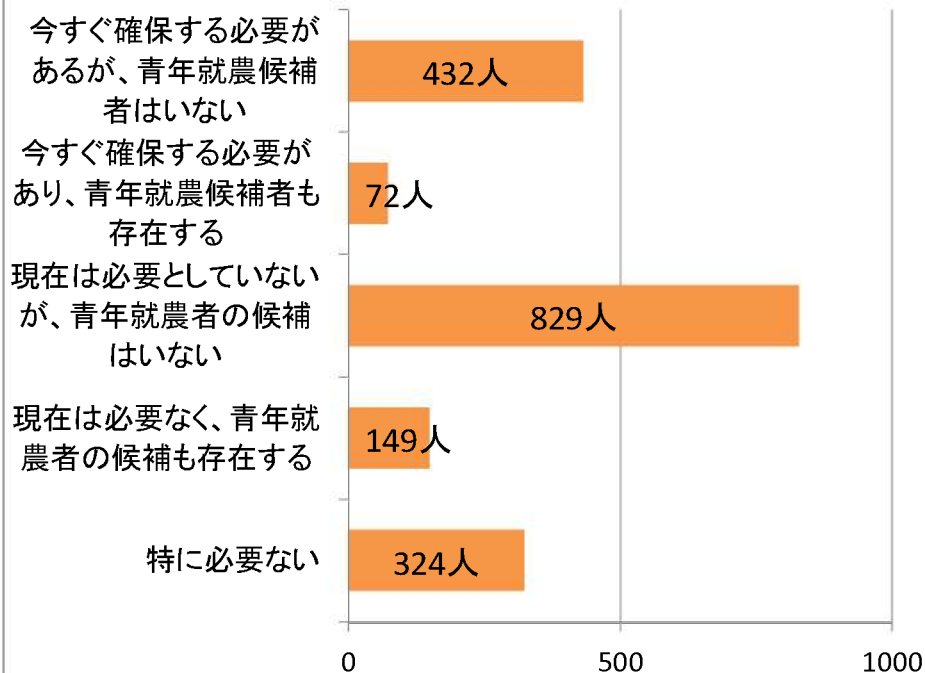
コメント: 集落営農や法人に集積していきたいと思う農家が多いことから、集落営農組織を育成して地域農業の持続を図って行きたい。

Q3-③ 今後創出する中心経営体の候補



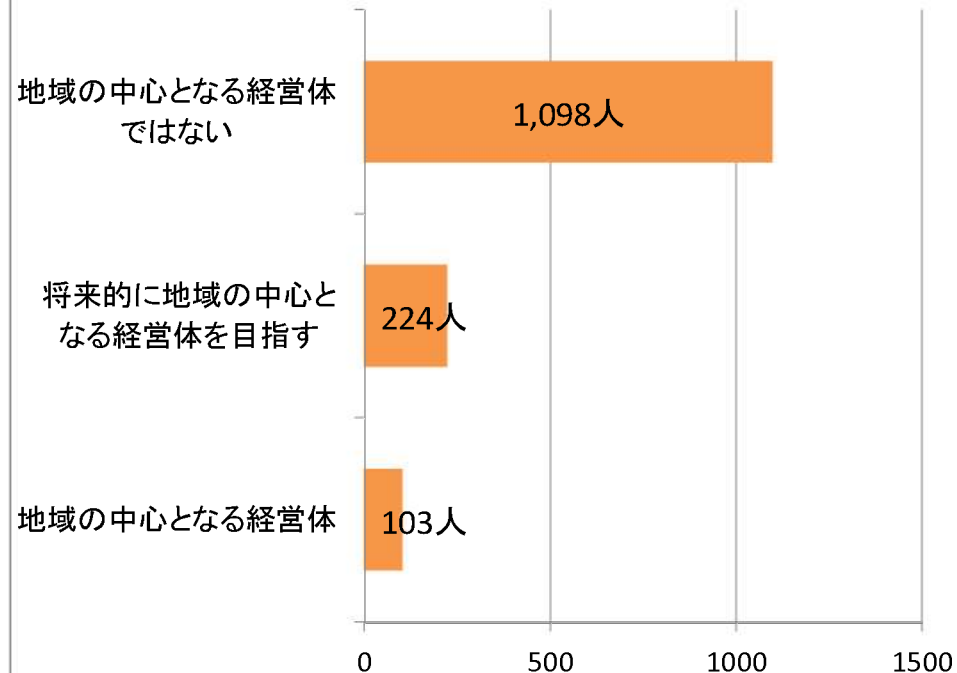
コメント: 中心経営体として集落営農組織を創出する必要性を感じている農家が多いため営農組織の創出を図って行きたい。

Q 4 集落・地域に青年就農者が入ってくる必要 があると思いますか



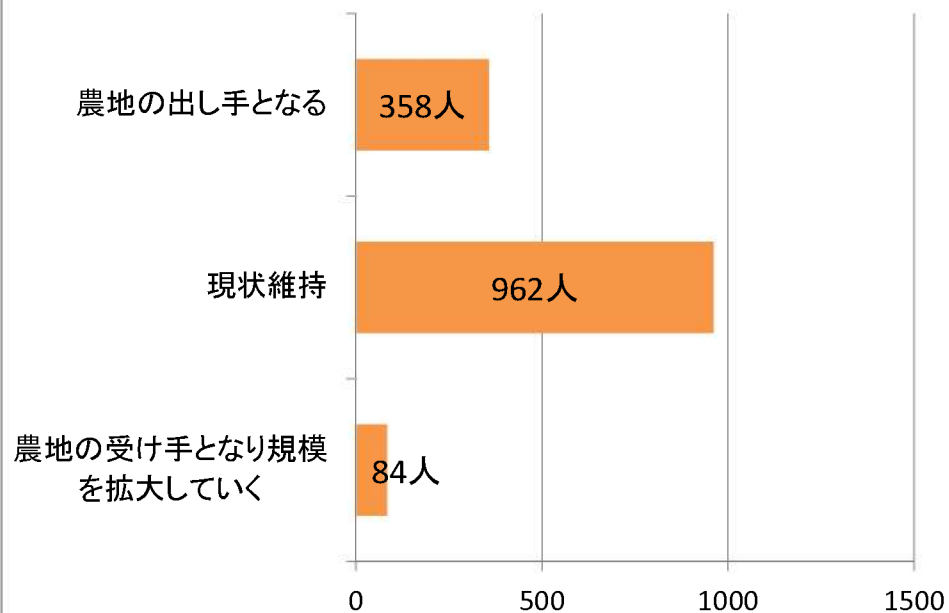
コメント:今のところは、青年就農者は必要としておらず、候補となる青年就農者の見当も付かない農家が多い。また、青年就農者が居ないわけではないので、10年後をより鮮明にイメージして地域農業の10年後の話し合いを進めてほしい。

Q 5 あなた自身の経営は、地域の中でどのような 位置付けだと思えますか



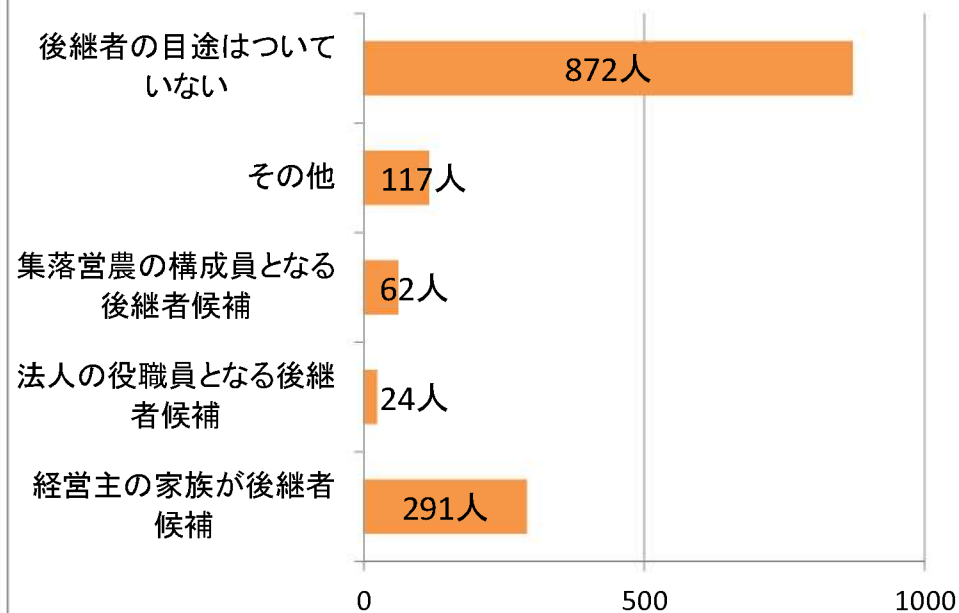
コメント:中心経営体となりうる農家が100名程度いるので、その経営体を中心としてプラン作成をし、地域農業を持続して行けるよう話し合いを進めて行きたい。

Q6-1 あなた自身の今後の経営(農地に対する考え)



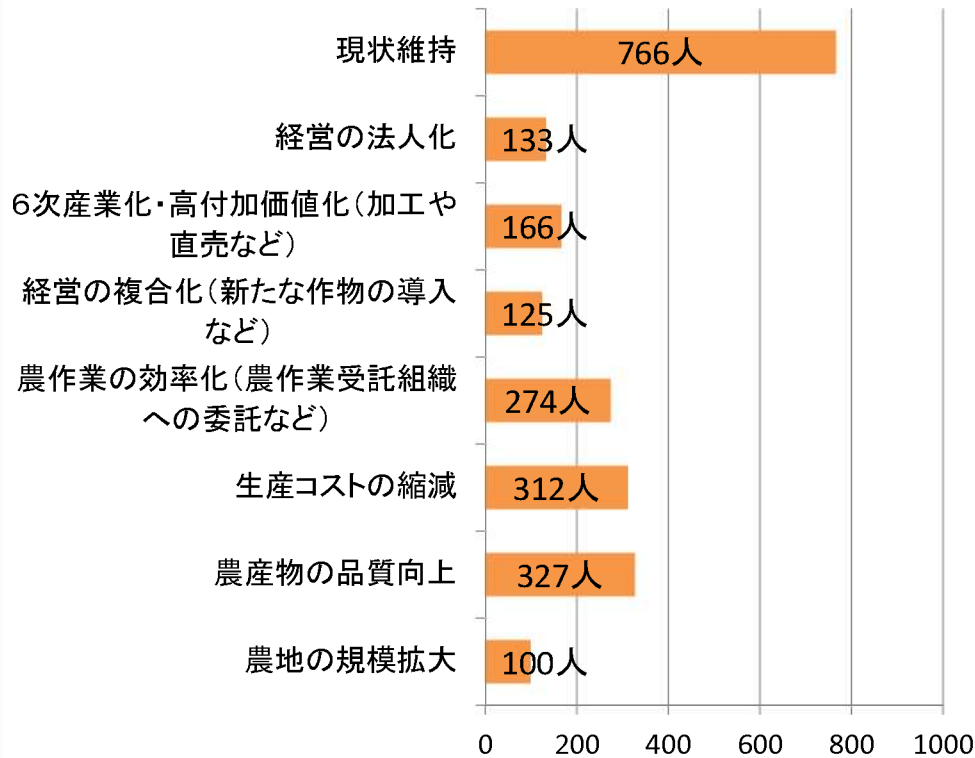
コメント:現状維持を望む農家が多いが、農地を出したいという人及び受け手となり規模拡大を望む農家も居るので、うまくマッチングするように話し合いを進めてほしい。

Q6-2 あなた自身の今後の経営(後継者に対する考え方)



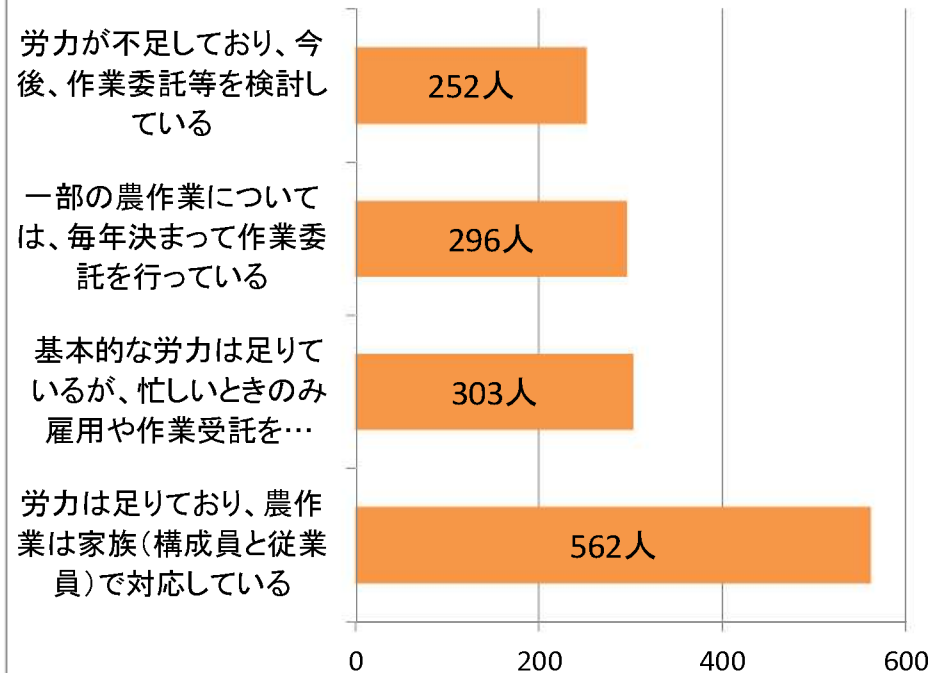
コメント:後継者の目途がついている農家は少ないが、目途がついている農家は確実に後継者として育成し、そのほかは、集落営農組織を作るなどして、地域農業を維持するための、話し合いを進めてほしい。

Q 6 - 3 あなた自身の今後の経営(今後のご自身の経営に対する考え方)



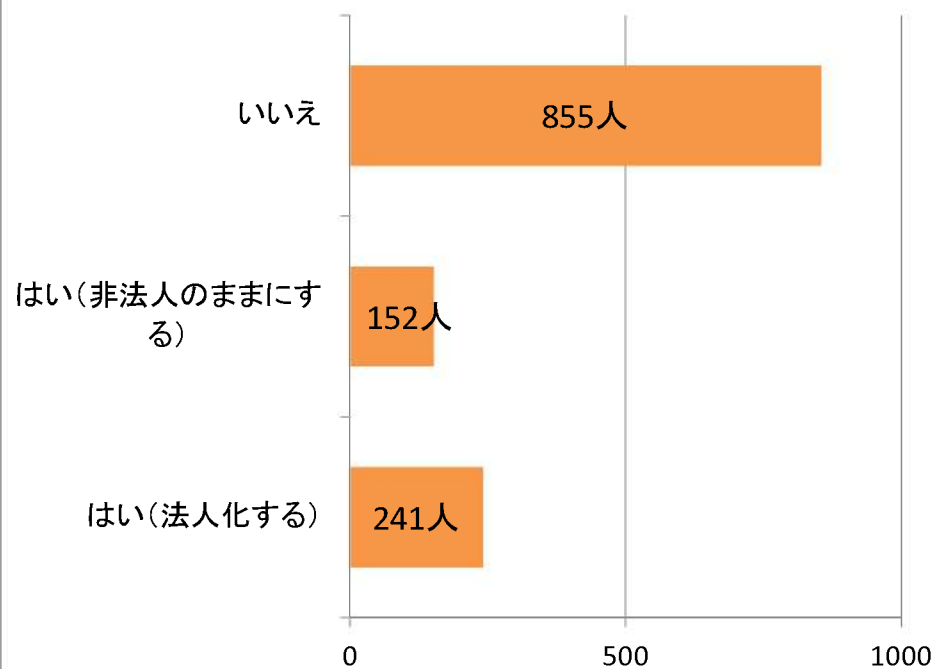
コメント:現状維持を望む農家が多いが、10年後を考え、どの様な農業をしたら、経営発展が望めるのかを具体的にイメージして地域の話し合いをしてほしい。

Q 7 農業経営の担い手(作業)は足りていますか



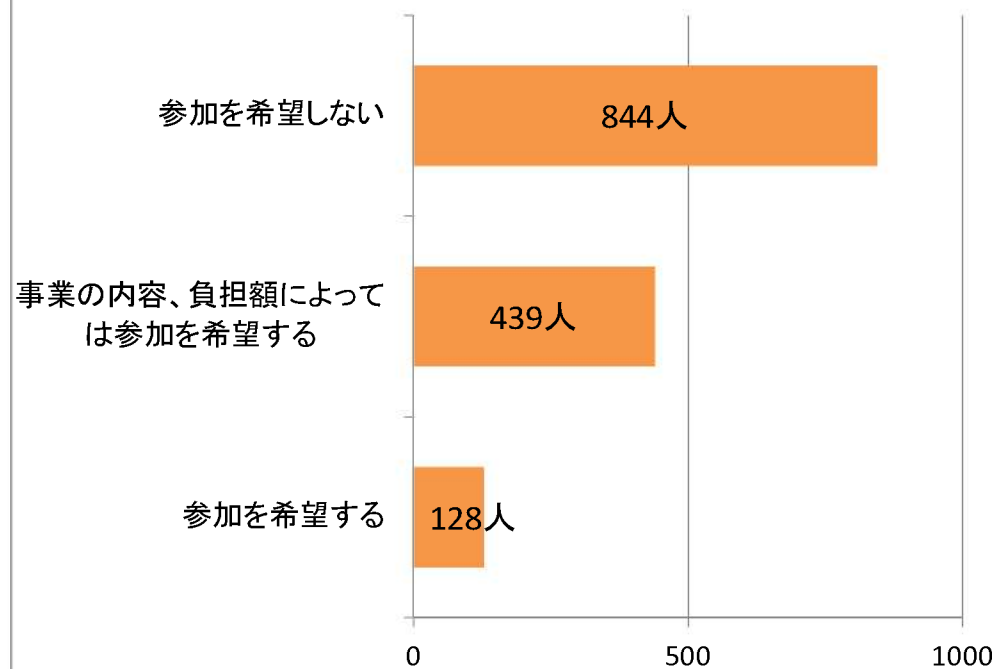
コメント:現状は労働力は足りているとする農家が多いが、労働力不足を感じている農家も多い事から、この問題を解決する為の話し合いを進めてほしい。

Q 8 集落営農を組織していきたいと思いませんか



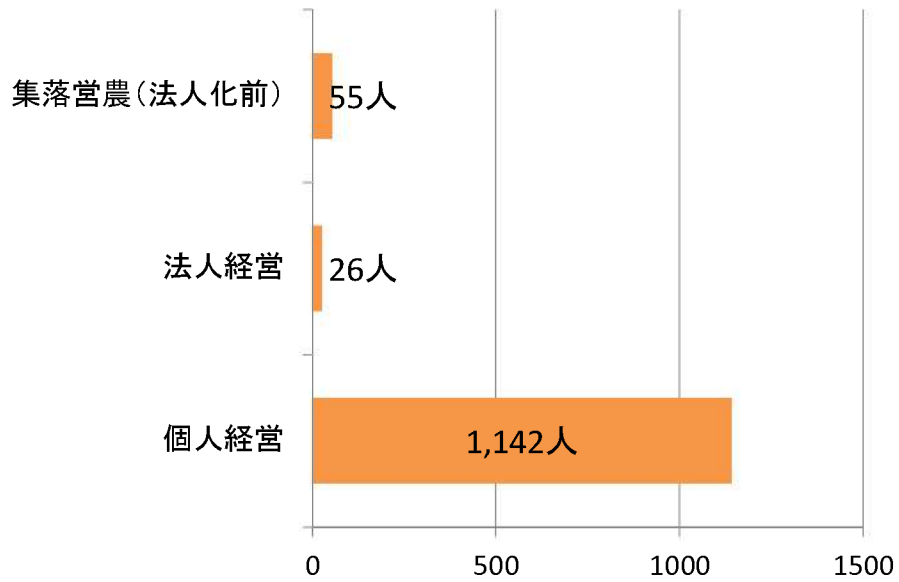
コメント: まだまだ、現状で頑張っていけると考えている農家が多いが、10年後、本当に今のままで、地域農業を維持出来るのかを真剣に話し合ってほしい。

Q 9 あなたの地域でほ場整備事業を行うこととなった場合、事業に参加しますか。



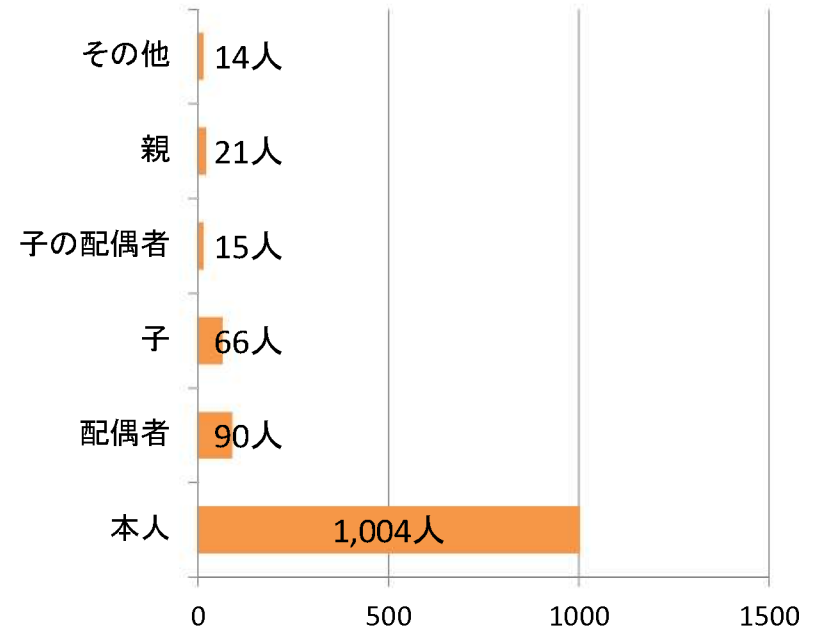
コメント: 圃場整備をした方がいいのは理解していると思うが、支出もともなうので、ある程度まとまった地域で参加を希望するところから整備し地域農業の維持をしてほしい。

Q10 あなたの経営の種類



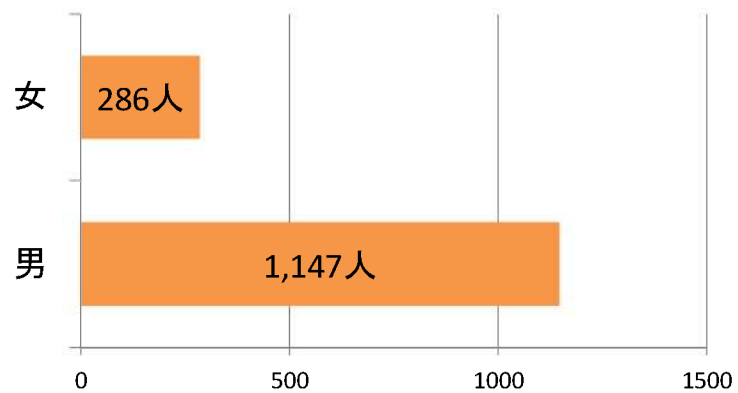
コメント:個人経営が多いが、今後を考えると集落営農組織を創出しそこに集積をしていくことも必要と思われる。

Q11 経営主との続柄



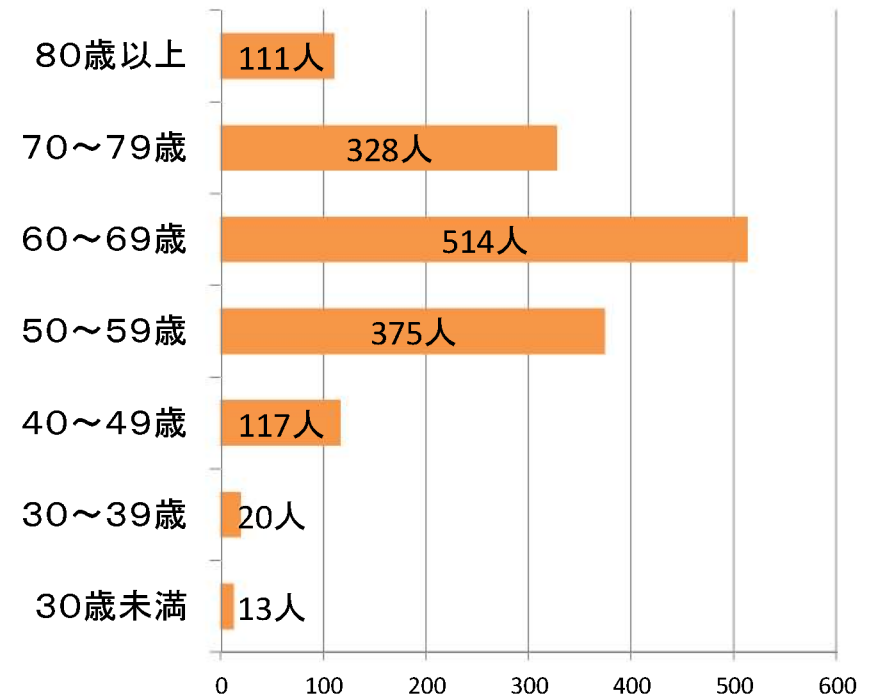
コメント:

Q 1 2 性別



コメント

Q 1 3 年齢



コメント:回答者は、圧倒的に50歳以上の方の回答が多いので、今後を考えると、あと10年たったら農業に携わる人数がどうなるか、不安になってくと思うが、アイデアしだいでは、活力のある農業を営むことが出来ると思うので、若い農業者・女性農業者の斬新なアイデアを出し、話し合ってもらいたい。